

令和7年度「隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」の取組結果について

1. 計画の概要

隠岐広域連合では事業活動に伴い排出される温室効果ガスを削減するため、「第4期隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」（令和4～令和8年度）を策定し、対策に取り組んでいます。※この計画における温室効果ガスは二酸化炭素（CO₂）としています。

■令和7年度の取組結果は以下のとおりです。

（単位：t CO₂）

	令和3年度 （基準年度）	①目標値 （削減率△18%）	②令和7年度 （実績）	目標値比較増減 （②－①）	前年度比較増減 （当年－前年）
二酸化炭素	2,808	2,303	2,094	△209	△296

2. 温室効果ガスの排出状況

1) 主要項目別取組結果

■主要項目別では、電気、ガソリン、灯油、液化石油ガスにおける CO₂の排出量が目標値に比べて増加していますが、多くの項目において前年度を下回る実績となりました。

（単位：t CO₂）

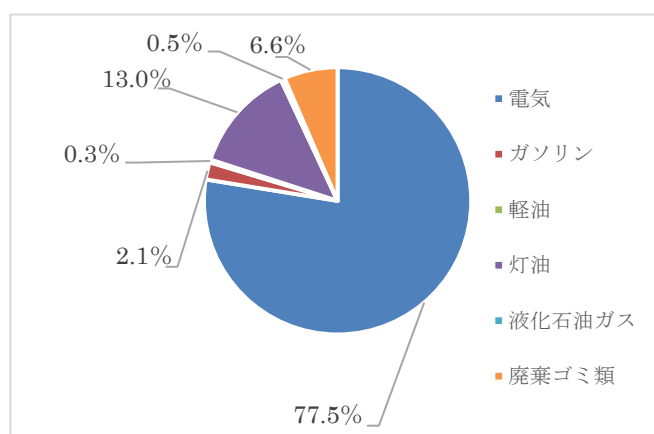
	令和3年度 （基準年度）	①目標値 （削減率△18%）	②令和7年度 （実績）	目標値比較増減 （②－①）	前年度比較増減 （当年－前年）
電気	1,771	1,452	1,624	172	△202
ガソリン	34	28	44	16	△30
軽油	8	7	7	0	0
灯油	310	254	273	19	△29
液化石油ガス	9	8	10	2	1
廃棄ゴミ類	676	554	136	△418	△36

2) 要因別温室効果ガスの排出割合

■排出割合を見ると、電気が77.5%と約8割を占めています。

（単位：t CO₂）

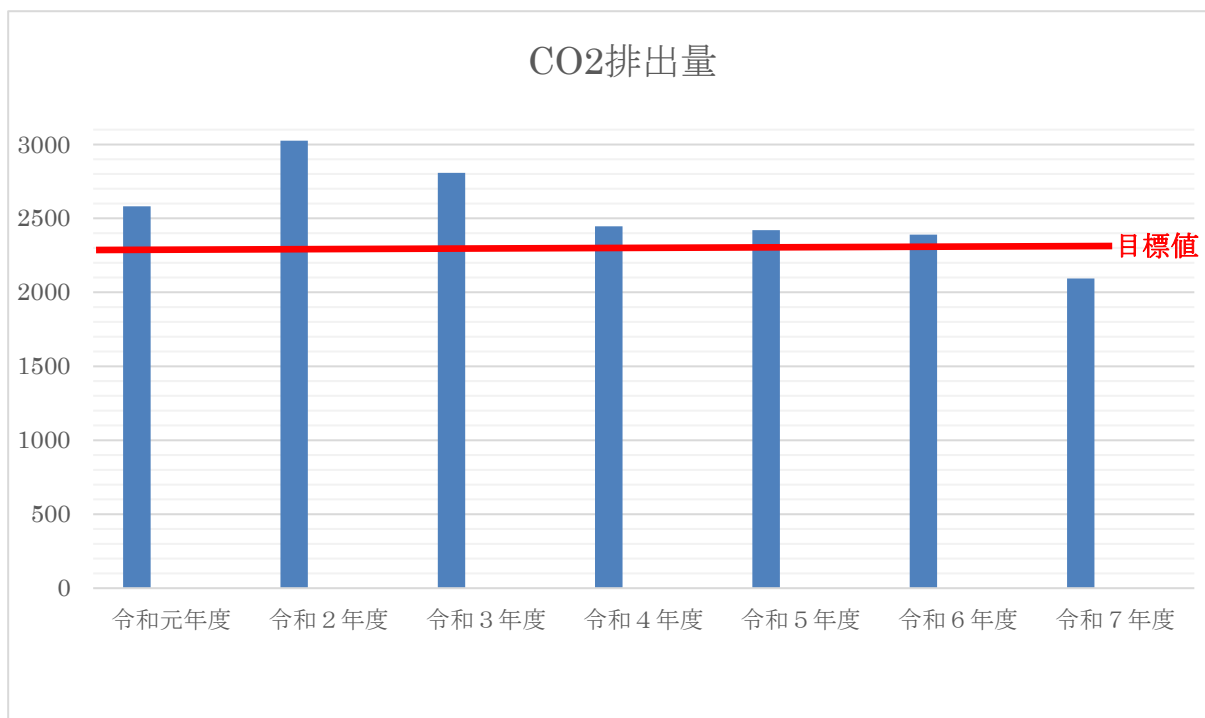
	令和7年度 （実績）	割合
電気	1,624	77.5%
ガソリン	44	2.1%
軽油	7	0.3%
灯油	273	13.0%
液化石油ガス	10	0.5%
廃棄ゴミ類	136	6.6%
合 計	2,094	



3) 取り組みの推移

■令和7年度は前年度と比較して 12.3%の減少、目標値と比較しても 9.1%の減少となっています。

(単位: tCO₂)



3. 取組結果の状況

隠岐広域連合の温室効果ガスの総排出量は、前年度に比べ減少し、第4期計画期間において初めて目標値を下回りました。

排出量算出における排出係数の減少により、特に電気部門での削減（前年度比）が大きく影響していると考えられます。

4. 今後の取り組み

令和7年度の温室効果ガスの総排出量は、前年度に比べ減少し、目標値に到達することができました。しかし、国の示す2030年度目標の「マイナス46%（平成25年度比）」にはまだまだ及ばないため、関係各所で引き続き地球温暖化対策への意識を高め、光熱費等の削減や脱炭素に向けた取り組みを強化していきます。